

教科名	理科	単位数	4単位	担 当	柿崎 多太弘 那須野 収
科目名	化学	年次	3年次		
使用教科書 副教材等	化学（数研出版） セミナー化学基礎+化学（第一学習社） チェック&演習化学（数研出版） 二訂版 ニューステージ 化学図表（浜島書店）				
1 学習の到達目標(育成すべき資質・能力)					
<ul style="list-style-type: none"> ・化学に関する基本事項を理解し、化学的なものの見方や考え方を身につけることができる。 ・実験、観察を通して探求する能力と科学的な物質感を身につけることができる。 ・化学を理解することにより自然や環境を尊重する意識と態度を身につけることができる。 ・受験問題に対する解答能力の育成に努める。 					
2 学習の評価(評価規準と評価方法)					
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力、判断力、表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身につけている。 ・化学的な事物・現象に関する観察、実験等を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・化学的な事物・現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・化学的な事物・現象に興味・関心をもち、主体的に探求しようとするとともに、科学的態度を身につけている。 ・身のまわりの化学に興味を持つとともに、粘り強く化学の学習に取り組んでいる。 		
主 た る 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む態度 ・小テスト ・定期考査 ・提出物 ・観察・実験における基本操作の習得と活動状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む態度 ・小テスト ・定期考査 ・提出物 ・観察・実験における活動状況 ・レポート課題への取り組み状況 ・グループワークへの取り組み状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む態度 ・小テスト ・定期考査 ・提出物 ・観察・実験における活動状況 ・レポート課題への取り組み状況 ・生徒自己評価 		
評価全体 に占める 割合	40%	40%	20%		
3 学習の目標と振り返り					
	《目 標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
前期	3編 無機物質				非金属元素・金属元素の単体・化合物において、 a. 製法・性質・反応性について理解し、知識を身に付けている。 b. 性質や反応を論理的に類推・考察することができる。 c. 製法や性質・反応性について意欲的に探究しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む態度 小テスト 定期考査、提出物 観察・実験における活動状況 レポート課題への取り組み状況 生徒自己評価
	1章 非金属元素					
	(3) 酸素・硫黄	◎	◎	○		
	(4) 窒素・リン	◎	◎	○		
	(5) 炭素・ケイ素	◎	◎	○		
	2章 金属元素(I) 典型					
	(1) アルカリ金属元素	◎	◎	○		
	(2) アルカリ土類金属元素	◎	◎	○		
	(3) アルミニウム・スズ・鉛	◎	◎	○		
	【6月定期考査①】					
	3章 金属元素(II) 遷移					
	(1) 遷移元素の特徴	○	○	○		
	(2) 鉄	◎	◎	○		
	(3) 銅	◎	◎	○		
	(4) 銀・金	◎	◎	○		
	(5) 亜鉛	◎	◎	○		
	(6) クロム・マンガン	◎	◎	○		
	(7) その他の遷移金属	○	○	○		
(8) 金属イオンの分離・確認	○	◎	○			
4編 有機化合物				有機化合物全般、アルカン・アルケン・アルキン、アルコールと関連化合物、芳香族の特徴・構造・反応性において、 a. 特徴と分類を理解し、知識として身に付けている。 b. 分類でき、構造を理論的に考察できる。 c. 意欲的に探究しようとする。		
1章 有機化合物の分類と分析						
(1) 有機化合物の特徴と分類	○	○	○			
(2) 有機化合物の分析	○	○	○			
2章 脂肪族炭化水素						
(1) 飽和炭化水素	◎	◎	○			
(2) 不飽和炭化水素	◎	◎	○			
【9月定期考査②】						
3章 アルコールと関連化合物						
(1) アルコールとエーテル	◎	◎	○			
(2) アルデヒドとケトン	◎	◎	○			
(3) カルボン酸	◎	◎	○			
(4) エステルと油脂	◎	◎	○			
4章 芳香族化合物						
(1) 芳香族炭化水素	◎	◎	○			
(2) フェノール類と芳香族カルボン酸	◎	◎	○			
(3) 芳香族アミンとアゾ化合物	◎	◎	○			
(4) 有機化合物の分離	○	◎	○			
5章 高分子化合物				様々な高分子化合物の性質と反応に関する、 a. 概念・原理・法則を理解し、知識として身に付けている。 b. 分類・構造を理解することができる。 c. 意欲的に探究しようとする。		
1章 高分子化合物の性質						
(1) 高分子化合物の構造と性質	◎	○	○			
2章 天然高分子化合物						
(1) 糖類	◎	○	○			
(2) アミノ酸とタンパク質	◎	○	○			
(3) 核酸	◎	○	○			
3章 合成高分子化合物						
(1) 合成繊維	◎	○	○			
(2) 合成樹脂	◎	○	○			
(3) コム	◎	○	○			
【11月定期考査③】						
※演習						